

年 間 指 導 計 画

検 印	校 長		教 頭		
--------	--------	--	--------	--	--

教科担任（ 岸 本 和 美 印 ）

科目名	地歴理解	単位数	2	対象学年	3年
-----	------	-----	---	------	----

学期	月	指 導 内 容	配当時間	備考
1 学 期	4 5	歴史と資料 作業的・体験的な学習を重視し、資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解する。	8 8	
	6 7	歴史と追求 時代ごとに区切らない主題を設定し追求する学習を通して、生徒に多様な歴史学習の方法の方法を身に付け、歴史的な見方を一層深化させる。	8 6	
2 学 期	9 10 11 12	地域社会の歴史と文化 地域社会の歴史と文化の特色を理解させるとともに常に日本史全体との関係を意識し、身近な地域から日本や歴史を見る態度や方法を身に付けさせる。		
		(1) 日本人の生活と信仰	8	
		(2) 日本列の地域的差異	8	
		(3) 技術や情報の発達と教育の普及	8	
3 学 期	1 2	歴史の追究 1 日本食の発達 2 地域の多様性 3 植物学時始	6	
		4 世界のなかの一員として 5 社会のなかの女性	4	
			計 70 時間	

シラバス

検 印	校 長		教 頭		
--------	--------	--	--------	--	--

教科担任（岸本和美）

科目名	地歴理解	単位数	2	対象学年	3年
-----	------	-----	---	------	----

学期	月	指 導 内 容	配当時間	備考
1 学 期	4 5	歴史と資料 作業的・体験的な学習を重視し、資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解する。	8 8	
	6 7	歴史と追求 時代ごとに区切らない主題を設定し追求する学習を通して、生徒に多様な歴史学習の方法の方法を身に付け、歴史的な見方を一層深化させる。	8 6	
2 学 期	9 10 11 12	地域社会の歴史と文化 地域社会の歴史と文化の特色を理解させるとともに常に日本史全体との関係を意識し、身近な地域から日本や歴史を見る態度や方法を身に付けさせる。		
		(1) 日本人の生活と信仰	8	
		(2) 日本列の地域的差異	8	
		(3) 技術や情報の発達と教育の普及	8	
		(4) 世界の中の日本	6	
3 学 期	1	歴史の追究 1 日本食の発達 2 地域の多様性 3 植物学時始	6	
	2	4 世界のなかの一員として 5 社会のなかの女性	4	
			計 70時間	

評価方法について

- ◇ 平常の授業に取り組む姿勢、定期考査の結果、課題やレポートなどの提出物の状況を総合的に判断し、尚かつシラバスに記載した評価の観点に即して総合的に判断します。
- ◇ 授業への取り組む姿勢は、授業態度、ノート提出、発表の状況などを評価の対象とします。
- ◇ 課題やレポートなどの提出物では、提出期日や分量を守れたか、自分の視点で考察できたか、丁寧に書くことができたか等を主な判断基準とします。